

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

野原修議員

2 都市計画道路千里丘駅前線について

【質問1回目】

○野原修議員 都市計画道路千里丘駅前線について。

JR千里丘駅西口の安全対策について、毎日放送跡地の吹田市大型マンション開発に伴う送迎バス、マイカーなどが大幅に増加する西口駅前の交通混雑は目に余るものがあります。現状、道路での対策として過去駅前の千里丘19号線の道路補修工事の際に、地元とも協議され、歩行者用通行帯を60センチ広くし、車椅子の通行や雨の日に傘を差しての通行がしやすくなったと歩行者が喜んでおられます。

また、昨年度にはJR千里丘駅西口駅前近畿大阪銀行前の市道千里丘22号線、23号線において、歩行者の安全対策として路側帯にグリーンベルトを施し、ラバーポールの設置により歩車分離を試みられております。歩行者の視認性もよくなり、道路のUターン防止策としては一つの具体的な方法であると思っておりますが、駅前の道路の幅を制限されることにより、二重停車による駅前で乗降させたり、対向車が待っているにもかかわらず車内でチケットを販売する送迎バスも見受けられますことから、ますます一般車両の通行スペースが確保できにくくなります。新たな交通混雑や歩行者の通行障害も発生しつつあります。

JR千里丘駅西口では、特に北口に当たり前のように駅、階段、エスカレーター前などで送迎バスを待つ長い列ができております。また、マイカーでの迎いの車が待機、停車され、一般車両が歩行者、自転車と接触ぎりぎりまで通行しています。

市道路交通課や道路管理課から送迎バスの運行会社へ、運行経路の変更や駅前で二重停車による乗車、チケット販売について注意を促し、摂津警察からもマイカーでの迎いの

車の長時間の待機停車に指導していただいていると聞いておりますが、現状の中での対策には限度があると思っておりますが、実施項目の検証や改善策について考えをお聞かせください。

また、平成27年度末には都市計画道路千里丘中央線、旧名称岸部千里丘線が供用され、JR千里丘西口駅前に流入する交通量がさらに増加し、駅前の混雑はより一層激しいものになると予測されます。JR千里丘駅西口駅前は都市計画道路の千里丘駅前線として都市計画決定がなされており、この整備を進めることが解決のための喫緊の課題であると思っておりますが、考えを聞かせてください。

【質問1回目への答弁】

○藤井土木下水道部長 都市計画道路千里丘駅前線についての土木下水道部にかかわりまずご質問にお答えいたします。

JR千里丘駅西口駅前道路での安全対策につきましては、平成22年度に千里丘1丁目東交差点から千里丘駅西口までの区間の道路補修工事を実施いたしました際に、幅員4メートルの車道と歩行者通行帯としまして路側線を設け、千里丘駅西口につながる歩道と連絡し、歩車分離を図っております。

平成24年度におきましては、暫定的ではございますが、府道千里丘三島線側道から近畿大阪銀行前を経て千里丘駅西口駅前に至ります市道千里丘22号線の路側帯にグリーンベルトを設置し、西口駅前の千里丘19号線、23号線合流部にはラバーポール設置により歩車分離を図り、Uターン防止対策の実施を行っております。その際、送迎バスの運行会社につきましては、書面をもって千里丘交差点から千里丘ガード側道を運行経路とするよう勧告してまいったところでございます。

また、今年度におきましては、千里丘ガード上部に置き基礎によりますガードレールを

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

野原修議員

2 都市計画道路千里丘駅前線について

設置し、歩行者通行帯を設けておりますが、マイカーでの迎いの車両が待機、停車されている状況もございますので、ガードレールが途切れる区間の通行の安全確保に向け、所轄警察署との協議、連携によりましてさらなる改善策を検討してまいりたいと考えております。

○吉田都市整備部長 都市計画道路千里丘駅前線について、都市整備部にかかわりますご質問にお答え申し上げます。

本路線は昭和44年に現在の線形で都市計画決定がなされており、合わせまして約3,400平米の駅前交通広場が計画されております。千里丘駅西口では、準備組合により市街地再開発などによるまちづくりが検討されており、これらのまちづくりと合わせまして、駅前交通広場などの整備を行うことが望ましいものと考えております。千里丘西地区市街地再開発準備組合は昭和63年に設立され、調査、検討を行ってまいりましたが、社会経済状況などの影響によりまして事業化には至っていないのが現状であります。しかし、平成23年には大阪府都市整備推進センターのまちづくり初動期活動サポート助成金を活用し権利者の意向把握をされるなど、活動を再開されており、先日開催されました平成25年度定期総会におきましては、権利者への個別ヒアリングなどを行いながら建築施設や公共施設などの計画案策定に向けた条件整理を行う事業計画が承認されるなど、まちづくりに向けまして積極的に取り組んでおられます。

本市といたしましても、基盤整備と合わせて一体的なまちづくりが必要と考えておりますことから、準備組合と連携を図りながら駅前交通広場の再配置など都市計画変更も視野に入れ、検討してまいりたいというふうに考えております。

【質問2回目】

○野原修議員 千里丘西準備組合の動きや再開発事業との整合を図る必要性は理解しますが、平成27年度末には吹田操車場跡地まちづくりにおいて千里丘中央線が整備され、新たな交通が駅前に流れ込むことになり、さらに混雑が考えられます。千里丘中央線供用開始に伴う交通量の増加に対し、駅前での混雑解消と歩行者の安全確保をどのように図っていくのか、お聞かせください。

【質問2回目への答弁】

○吉田都市整備部長 都市計画道路千里丘中央線供用開始時の安全対策についてのご質問にお答えさせていただきます。

議員ご指摘のとおり、再開発事業に向けた手続が順調に進みましても、千里丘中央線の供用とはタイムラグが生じますことから、現在、駅前に駐停車している送迎用マイクロバスなどによる交通渋滞を少しでも緩和するため、千里丘ガード側道の一部を拡幅する案について、道路管理者であります大阪府茨木土木事務所や摂津警察とも協議を行っているところでございます。

しかし、摂津警察からは西口駅前からの歩行者動線の安全が十分に確保されていないとの指摘を受け、歩行者の安全確保を図るため、千里丘ガード上部の道路整備などを合わせて検討しております。本年度におきましては、JR用地を買収し歩道用地を確保しながら、千里丘中央線の供用に合わせて西口駅前までの連続した歩行者動線空間の確保が図られますよう、実現に向けまして関係機関と協議を行ってまいりたいというふうに考えております。

【質問3回目】

○野原修議員 千里丘公民館改修工事について

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

野原修議員

2 都市計画道路千里丘駅前線について

では、図書機能の充実、バリアフリー化などをしていただいて、地域の方が安全で楽しく集える学習拠点としてふさわしい、時代にマッチした施設へ地元の方々としっかり意見交換していただくことを強く要望します。

都市計画道路千里丘駅前線について、道路の一部拡幅や歩行者空間の確保に向け、関係機関との協議を進められるとのことですが、千里丘中央線が供用開始されてから整備に着手するのではなく、供用開始と同時に道路拡幅や歩道整備が完成するよう、関係機関とは十分に調整を行っていただきたい。